

希望の遠隔診療の業は？

and
or

エリアで条件を絞る



口コミ評価の条件を絞る



ご希望のサービスを絞る



🏠 > 紹介ページ > 【最新】オンライン診療と対面診療の料金を徹底比較



【最新】オンライン診療と対面診療の料金を徹底比較

病院やクリニックに定期的に通院している方で**オンライン診療**にしようと考えている方の中には費用が高くなるのでは
る人が多いようです。

オンライン診療を導入しているクリニックのホームページを見ると、料金について色々書いてあり、**システム利用料**と
での対面診断では書いていない料金が書いてあり高くなるのではと思ってしまうそうです。

ですが、**実際は病院に支払う医療費は対面診療に比べてオンライン診療が安くなる場合が多いです。**



「安くなる場合が多い」のであって「必ず安くなる」わけではありませんので、その点は注意する必要があります。

疾患や病院の料金体系にもよりますが、**多くの場合で安くなる**と思いますので、その辺りを詳しく説明します。

この記事はこのような方におすすめです

- ✓ **オンライン診療**に興味があるが、支払い額がどうなるのか知りたい？
- ✓ **オンライン診療**に興味があるが、料金がいくらくらいになるのか知りたい

目次・・・

1. 遠隔診療と従来の対面診断で負担する費用を比較しながら解説
 - 1.1. 予約料
 - 1.2. システム使用料
 - 1.3. オンライン診察料
 - 1.4. オンライン医学管理料
 - 1.5. 処方箋料
 - 1.6. 送料
 - 1.7. 全部まとめると大体いくら？
2. 一方で対面診療での料金は？
3. まとめ

遠隔診療と従来の対面診断で負担する費用を比較しながら解説

遠隔診療でかかる料金は基本的に以下ようになります。

「**予約料**」+「**システム使用料**」+「**診察料**」+「**処方箋代**」+「**送料**」

これらを一つずつ説明していきます。

予約料

普通、かぜなどで病院に行くときは予約などなくいきなり病院に行くことが多いと思います。

しかし、**オンライン診療**は必ず予約を取る必要があります。

その際の料金で、医療機関ごとに設定料金が異なりますが、0円から高くても2000円程度に設定されている病院が多いよう

※保険算定上の理由から予約料の名目でお金を徴収できなくなったため**保険診療のメニューでは基本的には0円に設定されています。**

ここで料金が設定されている場合はおそらく自由診療です。

予約するのに料金が発生？と思うかもしれませんが、**薬を患者さんの自宅などへ送る料金も含めた料金**であることが多いで



予約料には配送料なども含まれることが多い

システム使用料

オンライン診療で使用するテレビ電話やセキュリティー管理を特別なシステムを使用している場合に設定されることがある。

医療機関が導入しているシステムにより料金設定が異なりますが**1000円から2000円程度に設定されていることが多い。**

※医療機関によっては予約料をとれない場合はこちらに送料を含めた料金設定としている場合もありますので、システム使用料の内訳は医師にご確認ください。

オンライン診察料

保険診療の場合はオンライン診療料として700円（3割負担であれば210円を窓口で支払う）がかかります。これは、国が定めていますので、どの病院でも同じ額が請求されます。

オンライン医学管理料

以下のような病気では「オンライン医学管理料」が発生します。

特定疾患療養管理料、小児科養指療導料、てんかん指導料、難病外来指導管理料、糖尿病透析予防指導管理料、地域包括診療料、生活習慣病管理料のいずれかを算定している初診以外の患者で、かつ当該管理に係る初診から6月以上経過している患者。

保険診療では料金としては1000円（3割負担であれば300円を窓口で支払う）となっており、オンライン診療料と同じく国が定めています。

処方箋料

処方される薬剤の種類や数により異なりますが、280円から680円の内自己負担分（3割負担であれば84円から204円）がかかります。

送料

薬が処方された場合、自宅まで配送する場合に発生する料金となります。

料金は病院によってはシステム料に組み込まれていることもありますし、配送地域に依らず一定額に設定していたりと様々です。

全部まとめると大体いくら？

送料と薬剤費を除いた「予約料+システム使用料+診察料+処方箋代」を合わせて自己負担額は「約2000円」程度となり(※定している医療機関が多いです)。

実際のオンライン診療では、この2000円のほかに薬剤の費用や送料が必要となるイメージかと思います。

一方で対面診療での料金は？

病院にかかったことがある方は大体いくらかいかに想像がつくと思いますが、比較のために普通に病院にかかったらいくらかい。

病院でかかる費用の内訳は以下ようになります。

初診料（再診料） 2820円(720円)

外来診療料 730円

処方箋料 280円～680円

医学管理料 2250円～12800円

ここで医学管理料は以下のように疾患により異なります。

医学管理料の種類

特定疾患療養管理料 225点（診療所の場合）

小児科養指療導料 250点

てんかん指導料 250点

難病外来指導管理料 270点

糖尿病透析予防指導管理料 350点

地域包括診療料 1503点

生活習慣病管理料 650-1280点

さらに薬局で薬をもらうときには以下の料金も発生します

調剤料（内服） 500円

調剤料（頓服） 210円

調剤基本料 410円

薬剤服用歴管理指導料 410円

これらを合計しますと5510円～18560円（3割負担で1653円～5568円）となります。実際はこれらの費用に加えて薬剤費

特に、医学管理料は疾患により大きく異なり2250円から12800円ととても幅広い料金体系となっています。しかし、**オンライン医学管理料**にあたる**「オンライン医学管理料」は、一律で1000円（3割負担の方は300円）**となります。

この医学管理料の部分（1653円から5568円）がオンライン診療では300円になるのでその分、対面診断よりも安く済みま



普通の診察を風邪で診てもらう場合は最も安い自己負担額の1653円という場合もありますので、オンライン診療ともありますので注意してください

しかし、高い場合ですと5000円を超える場合もありますので、そのような方がオンライン診療にすることにより、3000円なり料金面でのメリットとなります。

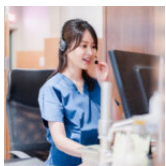
まとめ

料金が高くなることを心配して**オンライン診療**に踏み切れない方がいると思いますが、**少なくともオンライン診療での「相当高額になる」ということはありません。**どちらかという、**安くなることが多いことがわかりました。**

ですが、「**オンライン診療**はすごく安いわけではない」ので、料金の違いを「オンライン診療をするかしないか」の判断に定打に欠けると思います。

オンライン診療をするかしないかは、料金よりも「病院までの移動の負担」であって、「休みがなかなかとれないから」点の方が重要かもしれません。

また、オンライン診療のメリット・デメリットがあるので、オンライン診療を本当に検討している場合はこちらを読んでおすすめします。



🕒 2018.10.02

【おすすめ】オンライン診療にすると本当にメリットがある疾患4選+α！

オンライン診療は、日本ではまだ馴染みがないですが、アメリカではすでに身近なものとなっており、4億人が利用しているといわれています。（いる患者の3割にあたります。）日本においても、平成30年4月より保険適応となり、徐々に関心が高まっておりSNSを見てみると...